

教員採用試験受験レポート

【東京都】

試験日：7月13日(日)

試験内容

教職・一般教養試験 時間90分、マークシート50問

国語：敬語の使い方、四字熟語、文学作品と作者名

地歴公民、世界史、日本史

数学：小学校～中学校レベルと思う

化学：基礎レベル

物理：天文に関するもの

音楽：世界の音楽

美術：画家に関するもの

体育：各種大会に関する問題、運動やトレーニングについて

英語：中学生レベル。文意読み取りと英会話

その他：東京都の自然と文化、東京都に関する記述

環境問題、情報社会に関する知識、世界経済、心理学

教職教養：教育方法と関係人物

教育基本法、学校教育法(基礎レベル)、学習指導要領の年代順並べ替え

学習指導要領に基づく教育課程の編成について、学習の評価

人権教育、障害児教育、ボランティア活動、学校における情報教育

生活指導、学級経営、公立学校の教員の身分・職務、教育政策

教育行財政、近年の教育事情、東京の教育

選択問題：小・中・高のいずれかに関する問題を選択

上記のとおり、出題は多岐に渡り、しかも問題数が多い。改めてみれば大変基礎的なことを問う問題が多いことに気づかされるが、マークシートの内容が微妙なので精読して問題を解いていると60分くらいで頭がくらくらしてきた。最後見直しができるようにすこしペースをあげて解いたが、内容が基礎的である事と、東京の地理や歴史に暗いので、受験する都道府県の概要くらいは目を通しておくべきだったと思った。簡単に東京都のHPをみる程度の勉強を怠ったのがあとから悔しかった。ここで差がつくだろうから自信は皆無。

東京都の家庭は小・中・高一括で採用のため、受験人数も多かった。圧倒的に女性が多かったが、ちらほら男性も点在していた。関東のほうが受験における教員の心構えがよく見え、何人かは大学の私服姿と言った感じだったが、大方関西より化粧も薄く、清楚な感じである。関西のほうが茶髪の人が多い。

専門教養：60分

1 家庭生活、消費生活について

グラフ読み取り、高齢者の介助・介護・住居、社会保障制度、消費者の権利、マーク

2 食物

献立、豆製品、テーブルセッティング、食品の保存、無機質、香辛料、児童福祉法
幼児の食生活

3 被服

繊維製品の加工、家庭用品品質表示法、ミシンの扱い、着装の形式

4 住居

住環境、建築基準法、住宅の工法

5 選択問題

小・中・高に関する学習指導要領家庭に関する問題

マークシートであった。解きやすいかどうかよくわからなかった。高齢者に関する問題はどの都道府県でも多いようだが、東京も例外ではなかった。一割ほどマイナーな問題がでていて、基礎を問う問題とはいいいがたい。手ごたえはなかった。(9割が基礎とした場合、周りがどれだけ解けているのだろうかという疑問から)

論文問題：90分(1200～1500字)

A 現在学校教育において子供たちの学力を向上させるとともに個性を伸ばす事が求められている。

「学力」についてあなたの考えを述べよ

で述べた考えにたち、子供たちの学力向上と、個性と想像力の伸長に向けて教師としてどのように実践していくか。志望する校種に即して具体的に述べよ。

B 学校においては、子供たち一人一人が個性を生かし、充実した学校生活を送る事が出来るよう、生活指導の充実を図る事が求められている。

生活指導を進めていくうえでの教師のあり方について、あなたの考えを述べよ。

で述べた考えにたち、教師としてどのように実践するか、志望する校種に即して具体的に述べよ。

A を選択、概要

「学力低下」が叫ばれているが、学力は本当に低下しているのだろうか。また学力とはどのような力をさしているのだろうか。

私の学生時代「学力」を試される経験を幾度かしたが、私自身は学力を上げるために勉強した事はない。ただし、親や教師の目にかからないようにはしてきたように思う。

学力とは常に大人主体で測られるものではないだろうか。私は常に学生時代、「学力試験」

に縛られてきたが、大人になってそう思うようになった。しかし大学時代に自分の専門である「家庭」を深めるにつれ、小・中・高の「基礎学力」が痛切に肝要なものであると思ひ知らされた。子供のころ、学力をあげるために躍起になった事はないが、興味を感じ、生活に必要であれば子供の頃から学ぶ事を楽しむ事ができた。事実、必要があれば小学校や中学校などの基礎的な参考書を紐解く事もある昨今である。

現在の子供たちの「学力」が低下しているのは、大人たちの杓子定規によるものであり、現在の子供たちにとって興味・関心があり、生活に必要性を感じれば学力は自ずとついていくものではないか。

学力低下とは、基礎知識が自分たちの生活を豊かにしていくものであることを教えられない大人たちの責任であり、大人の怠慢である。(というようなことを書いたように記憶している)

私は高校の家庭科を5年間教えており、今後も高校家庭を希望している。私の実践は「自分の教科書づくり」というテーマで授業を展開していった。たとえば50分座学の場合は、まずその単元に関する生徒の興味・関心を知るために質問や知識についてリサーチし、授業に取り入れる。生活の中の身近な題材を例に基礎知識を教え、どのような内容でも丁寧に質問にきちんと答え、授業に織り交ぜながら展開していく。重要な事は板書し、積極的に生徒に発言や問題提起をさせた。最後の10分くらいは教科書や資料集を使い、調べ物学習や感想を書かせたりしてそのつど点検した。また実習の時間を有効利用し、基礎的な実験や実習を大切に授業を行った。家庭科の授業の内容は一生自分の役に立つという観点から一年間授業を行った結果、生徒の人数分の個性的な教科書ができるようになった。また、実習だけは安全面に配慮し、座学より厳しい雰囲気の中で授業を進めるよう留意した。自分の生活に身近で、一生考えていかなければならないと生徒自身が自覚できるような授業展開こそ学力向上に直結している。(これ以上にまとめていない。また食物の単元を具体例に述べた)

【感想】

午前中のマークシート攻防と人数の多さでいささか酸欠状態での論文作成となる。このころにはユンケルパワーも切れかけ、息も絶え絶えという感であった。Aを選択した理由は、おそらく「学力について」の論文を選ぶ人数が少ないかと感じた。(実際どうかかわからないが)また、生活指導について述べるとなると、問題があいまいでしかも大方どの受験生も書く事がほぼ同じではないかと思われた事。(生徒一人一人の個性を重視し、受け入れ云々とか、保護者・地域・学校の連携云々、ボランティア活動や生活体験云々)

とえらそうなことをぶってみたが、これも振り返ると反省ひとしきりである。こんな論文で通る東京ではないだろう。何せこれでもか、これでもかというくらいの兵糧攻めにあった気分であった。学力については「常に大人が主体になって問題が提起されている感が

あるが、子供主体の学力向上計画について」述べたかったのだが・・・

【大阪府】

試験日：7月20日(日)

試験内容

教職・一般教養試験 時間 120分、マークシート 40問

一般教養 30問

国語：古典読解、現代文読解(小説、随筆)、短歌読解

英語：英会話、短文読解(長文とは言いがたい)

美術・音楽・漢字の成り立ちの混合問題

数学：組み合わせ、コインの回転、一次方程式(?)

情報：モラルについて

自然科学：鏡の映り方、エネルギーの発生、植物の分類、自然災害の基礎知識

体育：安全・健康

公民：国会議員の地位、機能、外国為替、女性を取り巻く社会情勢、環境

地理：世界の大陸の気候、面積

歴史：江戸時代の偉人

世界史：中国の王朝、アメリカ合衆国の歴史

専門教養 10問

平成14年中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」、人権問題、障害児教育の変遷、カウンセリング、教育心理、学習指導要領、各種法令、教育思想家、評価について、生徒指導

【感想】

国語では、古典が出題されるとは思わず最初にぎくりとした。現代文読解は比較的新しい文章だが(吉本 ばなな など)、純文学のほうが読みやすい私としては解きづらかった。短歌は常識的な問題だった。英語は中学生レベルである。芸術はおろそかにされているらしく、基礎中の基礎である。数学はおそらく中学レベルだが、日々解いていなければ数学嫌いの私タイプには解けた自信がない。情報や環境は新聞を読んでいれば解けるだろう。自然科学・地歴公民は日々勉強しておかなければ忘れていく。特に中国史、地理はマニアックな問題だった。

教職教養は、教育心理などはマニアな出し方をしていた。正答は消去法で導かなければならない場合があった。(後に答えあわせをしてまたショックを受けたのである)

東京都では基礎的な問題を短時間でいかに解くかをみる試験であったが、大阪府では時間はたっぷりあるが、その分いかに時間をかけて勉強をしているかを問

うような感じであった。ばっちり差をつけられている気がする。

また、東京に比べて時間はたっぷりあったが、考えても解ける問題が少なかった。

注意書きに、「受験の際、冷房がないので、軽装でお越してください」との案内があったとはいえ、私服にちかい人が多く、きちんとしたスーツを着ていたのは男性(それでも「寝坊して慌ててジーンズはいてきました」みたいな男性も隣にいらっやいました)、家庭科では女性は私だけであった。茶髪が多く、知人ときているのか知らないが、待ち時間は和やかに会話されている方もちらほらいた。私服といっても清潔感あふれるというよりは、ダイエーかジャスコで購入したようなワンピースとかブラウスにスカートとか、もしや母親のお古なのだろうかとか余計なことまで考えるくらい、何かノスタルジーな気持ちにさせられた。見た感じ、若い受験生は少なかった。東京では一緒に頑張ろうという気持ちがあったが、大阪では「私だけは受かりたい!」と思ったのだけれども・・・

面接試験

日時：7月26日(土)

受験生：7名で1グループ

- A トップバッターだったかわいそうな私
- B 小柄で温和な感じの女性
- C 大柄で茶髪、うるさい感じの女性
- D 小柄で強気な感じの女性
- E ほとんど記憶にない女性
- F はっきりした感じの女性

面接官：2名

a 精悍な感じで眼光が鋭く、土建屋のおじさんか、ヤクザというかはっきりしたタイプ。

主に a が質問をしていた。推定年齢 45～53 歳。

b 物静かだが、眼光が鋭く、小柄なタイプの推定年齢 50 歳代男性。古本屋店主か税理士のようなタイプ。

面接時間：20分

質問は以下のとおり

- 1 自己紹介を含めて一分以内で自己アピールを
- 2 いっしょに働いていて、こういう人にはなりたくないというような、反面教師は
- 3 同僚と意見が対立したらどうするか
- 4 最後に一分以内で言い残した事があれば

1 自己紹介を含めて一分以内で自己アピールを(A から順に)

A 自分の受験番号、氏名、職名、趣味について

趣味はピアノや美術鑑賞などで、休日はよく美術館に通っている事。時間を見つけてはピアノを弾いていること。俳句で最近賞をいただいてうれしかったことなど。

B 自分の受験番号、氏名、職名

保育士の免許取得のため頑張っているらしい

C 自分の受験番号、氏名、職名

元気がとりやすい。声が大きいらしい。(大きいというより、私にはうるさかった)

D 自分の受験番号、氏名、職名

スキーが趣味らしい。非常勤講師

E ?

F 自分の受験番号、氏名、職名

西成の普通校で講師をしているらしい。体力がとりやすい。

2 反面教師にしたいタイプ

C 謝れない教師は駄目だと思う(ほぼ皆さん同意していました)

F きちんと指導できない人(だったと思う)

A(自分、しばらく考えてみて)

正直な話を聞いていいですか？(面接官期待して「どうぞ」)

欠点のない人間は存在しないと思うのです。私自身「いやだな」と思う事はありますが、そのたびにそう思う自分がいやになります。私自身も欠点はたくさんあるでしょうが、それを許してもらっている事もあると思うのです。たとえ「いやだな」と思う事があっても、私自身の行動を見て、その人が変わっていくような、そういうリーダーシップを取れるような人間に私自身がなりたいと思うのですが。(と言ってしまったが、期待に添えなかったかも。今考えたら具体例をあげた後、言うは易し、行うは難しの意味程度のことをいっておけばよかった気がします。)

3 対立した場合どうするか

ほぼ皆さん「対立したこと」がないそうです。

C 今、非常勤をしていますが、生徒の人権問題にかかわりそうな事があり、(生徒の問題発言を例に人権教育をしたいという先生がいて)生徒を守るために職員会議に出させてもらったりして、その生徒の人権を守ることができました。

A 一番最悪のパターンだと思いますが、対立の経緯をよく考え、相手の言い分に至るまでの経緯を考え、少しずつ折り合いをつけていきたいと思います。

4 最後に一言

E(?) 家庭科の授業は障害児教育ではもっとも重要な事だと思えますのでよろしくお願ひします。

F ほとんど年休は使わないくらい体力があります。よろしくお願ひします

- B 絶対損はさせません。よろしくお願いします。
- A 面接に来る前に大阪府がどのような人物を求めているか暗記していたのですが(笑)、豊かな人間性、幅広い社会性、深い専門性の三つでした。とても共感し、そのような教師になりたいと思っています。よろしくお願いします(なんと月並みな)
- C 本当に私は、元気だけがとりえで~云々、(面接官呆れ顔だった)
- D 熱意だけはだれにも負けません・・・(だったかな)

【感想】

筆記とは違い、きちんとした格好だったが、若さというか品がない。(若さがないのは私かもしれないけれど)おばちゃん談義のような風情である。別に目立とうとか、蹴落とそうとかそういう悪意はないが、いっている事が周りとは違いすぎる気がして後味がわるかった。私は一度も個性的でありたいなんて思った事ない。人間として生まれた限りみんな個性があるのだから、取り立てて個性個性と叫ぶのはおかしいと思う。でも、そういわれても仕方ないかもという気持ちになった面接でした。